

手作り人形処 あおう人形

“受け継ぐ” “想い”

“環境にやさしい” 伝統工芸

創業昭和38年、岡崎市の「藤川宿」に店舗を構える「粟生人形工房」の人形は、プラスチックなどの化学物質をほとんど扱わず、環境にやさしい天然素材を使用している。初代「粟生穂洲」から二代目「藤真」へと受け継がれた職人技は、天然素材や人形の表情にこだわることで、温かみのある人形を作り出す。

「ひな人形は道徳を教え、飾るときに人間性を見直すことで、正しい道へと導いてくれる。

親から子へ、子から孫へ。次の世代へと引き継いでいく架け橋になりたい。」と初代は語る。

「布の下に紙を袋張りすることで布の柔らかさを出し、衣装の柄を丁寧に合わせるなど細部までこだわっている。ひな人形に触れたとき、手作りによる温かみを感じてほしい。」と二代目は、その心意気を受け継ぐ。

初代 粟生穂洲



二代目 藤真



伝統を体験する学び舎

粟生人形工房では、6月～12月の毎週土曜日に「木目込み教室」を開催している。桐のおがくず（木くず）とりのりを混ぜた土台の、細い溝に布をきめ込むことで、まるで縫ったような仕上がりの人形となる。生徒さんの技能は様々であるが、互いに教えあいながら楽しく伝統工芸を学んでいる。多くの方にこの伝統工芸を知ってもらいたいということで、材料費のみ自己負担で学ぶことができる。布地も縮緬や金襴など様々なものを扱うことができる。



千支の木目込み人形



「都市景観環境賞」受賞工房